

Truth

[トゥルース]

富山のスポーツの
真実を伝える

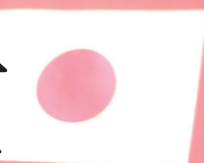
2015 秋号

アスポとやま

¥0 Takefree

VOL.3 富山初のスポーツマガジン

富山から世界へ



競歩

谷井孝行

サッカー・コーチ

濱野勇氣 第三章

スキー・師弟対談

山中茂&柿谷朱実



ほおぼる幸せ。

ほおぼる幸せ。

富山米



Truth

【トゥルース】
VOL.3 富山のスポーツの真実を伝える
秋号

Takayuki Tanii

YUKI HAMANO

Sigeru Yanamaka
Akemi Kakitani

TOYAMA
SPORTS
THREE TEAM

TOYAMA
SPORTS
MESSAGE BOARD

SPECIAL FEATURES

- 02 競歩
谷井孝行
富山で誓う「リオ五輪では金メダル争いを」
- 04 サッカー・コーチ
濱野勇氣 第三章
未来に何を残せるか
- 06 スキー・師弟対談
山中茂&柿谷朱実
世界で力を発揮できる人間を育てる

富山のプロチーム3球団のリアル情報
- 08 野球
富山GRNサンダーバース
3年目の自信 佐藤の2015シーズンをたどる
吉岡監督インタビュー／選手の色紙プレゼント
- 10 サッカー
カターレ富山
奮い立てーJ2復帰の可能性消える
保存版クラブ年表
- 12 バasketボール
富山グラウジーズ
18番目からのストーリー
来季スタートのBリーグ／黒田社長が描く未来像とは？
- 14 **富山のスポーツ伝言板**
ジムで体作りとフィットネス／スポーツ全体で笑顔を取り戻せ
※皆様からの耳寄り情報お待ちしております！

この冬は、こだわりファミマの挽きたてコーヒーで至福のひと時を!!

一杯ごとに
その場で挽く
コーヒー&カフェラテ

FAMIMA CAFÉ
ESPRESSO

あなたと、コンビニに、
FamilyMart ファミリーマート 検索
問合せ先／ファミリーマート富山営業所 Tel.076-422-9575

ブレンドコーヒー Sサイズ
1杯100円(税込)で好評販売中!!

※写真はイメージです。

富山県内のファミリーマートで 「Truth」を配布いただいています!

「Truth」の配布にご協力いただいている店舗・事業所などは次の通りです。

あおき接骨院、KHEIR(ケイル)、スポーツドームエアーズ、ボンジュールSAKATA二口店、ボンジュールSAKATA富山駅前店、ボンジュールSAKATA高岡店、いっぽ堂、スポーツショップランナー、ノン・ピリィ、エコーレ、山内武道具店、カフェ ジャック ラビット スリムス、アピアスポーツクラブ、西能病院、JSS富山インドアテニススクール、うな富、ビッグエッグ、ベースボールハウスMVP、すき焼 はやし、バイエルンスポーツ、(有)栄寿し、居酒屋酔虎伝、松長接骨院、竹接骨院、奥田接骨院、原接骨院、ヘアーサロンみずほ、いなみ木彫りの里 創遊館(道の駅 井波)、ねむり家、MUSCLE GYM TOKYO富山店、娘娘餃子、ステーキ すず屋 (順不同)

このほか、富山県内のスポーツ・文化施設、公共の窓口、スポーツ団体の事務局、総合型地域スポーツクラブの事務局などで配布いただいています。NPO法人Tスポとやまは、「Truth」の配布にご協力いただける事業所・店舗などを随時、募集しております。

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営
〒932-0817 小矢部市小神204-3 代表:松井克仁
TEL:080-3461-5959 E-mail:tspo.toyama@gmail.com
Facebook:https://www.facebook.com/tspo.truth

富山発のスポーツメディア
Truth

西能病院
SAINOU HOSPITAL
〒930-0866 富山市高田70番地
TEL 076-422-2211

整形外科センター
西能クリニック
ORTHOPAEDIC SURGERY CENTER
SAINOU CLINIC
〒930-0866 富山市高田71番地1
TEL 076-422-1551

整形外科・リハビリテーション科は 土・日・祝日も診療いたします
www.sainouhp.or.jp



持田製薬株式会社
五省会

富山で誓う「次は金メダル」

陸上の世界選手権、男子50キロ競歩で銅メダルを獲得した谷井孝行選手（自衛隊体育学校）。五輪・世界選手権を通じて日本人初の表彰台であり、日本選手団の中で唯一のメダル獲得となった。競歩に出合ってから17年間、谷井の不屈の歩みを振り返ってみよう。

世界陸上・競歩男子
50キロ銅メダル
谷井 孝行



谷井孝行 1983年2月14日生まれ、滑川市出身。滑川中、高岡向陵高、日大卒。佐川急便、SGHグループを経て2014年4月に自衛隊体育学校に入校。167センチ、57キロ。五輪はアテネ、北京、ロンドンと出場し、内定したリオで4大会連続となる。世界選手権は2005年のヘルシンキ大会以降連続で出場。自己ベストは20キロが1時間20分39秒、50キロは3時間40分19秒（日本歴代2位）。

谷井 孝行

文 若林 朋子
text by Tomoko Wakabayashi

写真 自衛隊体育学校 / 若林 朋子
photo by JSDF Physical Training School / Tomoko Wakabayashi

TAKAYUKI TANII / race walking

谷井は、16歳の時の写真を見て言った。「この時は、『いい歩き』ができていますね。勢いがある。北山（豊）先生と意見をすり合わせ、チェックしてもらい、自然に歩くことができていた……」

陸上競技の長距離選手として高岡向陵高校に進学したが、故障で走ることができなくなった。だから、歩いた。そして、速かった。あつという間に、高校日本一。そして、世界ユースでは銅メダル獲得。2000年とやま国体も期待通り優勝。10代は止まることなく無心で歩き続けた。

21歳で迎えたアテネ五輪は20キロ15位、50キロは失格。25歳の時に出場した北京五輪は20キロ失格、50キロは29位に終わっている。20代前半を振り返る谷井の表情は、少し苦しい。

「競歩を長年続けることによって、疲労がたまり、同じような感覚だと思っても、少しずつ変わっていった。いつも迷っていた……」

心技体がかみ合わず、試行錯誤の日々。結果が出ないことで、投げやりになったり、弱音を吐いたりするタイプではない。常に誠実であろうとする性分だけに、悩みは深かった。

今は迷いが無い。最近の写真から、理路整然と自身の「いい歩き」について解説してくれた。「フォームが崩れると後ろにける足が高くなり、違反を取られます。では、正しいフォームを保つためにどうするか？ チェックポイントは二つ。一つは両腕の引きが速くなっていないか？ もう一つは上体が後ろに傾いていないか？ 悪い兆候が現れたら、早めに修正すれば、大きく崩れることはありません」

二つのポイントを自覚し、自分のフォームをチェック

「練習する姿を見て、『競歩は両足が浮いたらダメなんだよね』と言ってくれました。競歩が少しずつ多くの人に理解されていることを実感できました」

リオ五輪に向けては、もつとレベルアップしなければ、メダル獲得は難しいと自覚している。五輪出場が内定していても、レースを重ねてスピードを強化し、自己ベスト更新を目指しながら、4度目の五輪に備えるつもりだ。

長女の5歳の誕生日、谷井は帰省した故郷で「金メダル争い」をリオ五輪の目標に掲げた。



しながら歩けるようになった時期は、2010年冬ころだという。

27歳の開眼である。誰かに指摘されたり、ひらめいたりしたわけではない。

「練習メニューを自分で立てるようになり、中途半端ではだめだと思いました。納得いくまでやらねばと……」

「なぜそこまで真剣になったのか」とたずねてみた。「娘の誕生です」とのこと。2010年9月24日に長女（美渚ちゃん）が生まれた。父になることは、競技者としての責任感と覚悟を、大きく変えたようだ。

2011年韓国・大邱の世界選手権は50キロで9位。久々にいい結果が出た。10代のころ、北山と繰り返し返した「意見のすり合わせ」を、自身の中で、できるようなっていた。12年のロンドン五輪は肺気胸により、途中棄権を強いられたが「本調子ならば……」との手こたえはあったらしい。

銅メダルを獲得した世界選手権のレース展開を振り返ってみた。序盤から飛び出した選手をあえて追わず、後続集団で暑さと戦いながら、自分のリズムを守った。集団がバラバラになり、40キロ手前では4位に後退したが、追いついた同僚の荒井広宙とともに1人を抜き、最後は荒井に競り勝って3時間42分55秒でフィニッシュした。「さすが」の内容である。そつがない。

銅メダルを携えて帰郷し、何よりもうれしかったのは、地元滑川市内での小学生の反応だったという。

恩師・北山豊氏「美しく歩くことを追求してきた結果」

谷井選手が高岡向陵高時代に指導にあたった恩師の北山豊氏（現龍谷富山高陸上競技部顧問）に喜びの声を聞いた。現在は日本陸連競歩審判員（JRWJ）の視点から助言を送っている。

「ついにやった」という思い

銅メダル獲得は、「ついにやった」という思いだ。谷井の強みは、身体的な面ではストライドをキープするために必要な腰のスムーズな動きを継続できることだろう。精神的には、入賞して嬉しい時でも謙虚で、失敗してつらい時も、それを受け止める誠実さだ。特に50キロは、徹底した自己管理が不可欠なもので、これまでずっと節制や練習に耐えてきた。「何事においても、負けないこと」を自分に課してきた

はずだ。

高校時代は、ある程度の練習量と技術で勝っていたけれど、大学・社会人になってからは、そうはいかなかった。故障もなく、迷うことなく歩き続ける時期は、実に短い。意識的にフォームを微妙に変化させ、修正を繰り返しながらレベルアップし、世界選手権という舞台で最高のレースをできた。それは非常に難しく、厳しい道のりだった。

「次は違った色のメダルを」

谷井の銅メダル獲得は、「後に続く高校生・大学生にとつて競歩を究める厳しさを考える契機になったのではないか」とも思う。私自身、審判員として歩型を判定する立場にある。中には、順位や記録にこ

だわるあまり、「1、2回は警告をもらってもゴールすればいい」と、雑なフォームで歩いている選手が少なくない。その点、谷井や男子20キロの世界記録保持者である鈴木雄介（富士通）は、美しく歩くことを追求してきた。自分をこまかさなで歩き続けたことが今回の結果につながったといえる。長いスパンで競技人生を考え、歩きの質を高めていく努力がなければ、メダル獲得は不可能なのである。

今回優勝したマテイ・トス（スロバキア）は谷井と同じ32歳。1999年の第1回世界ユースで谷井が銅メダルを獲得した時も、緒に歩き、下位入賞だった。トスもまた、谷井と同じように研鑽を積んできたに違いない。トスはリオ五輪でも強力なライバルになるだろう。谷井、次は違った色のメダルを獲ってほしい。




プロを経験した指導者として、子を持つ親として、 未来に何を残せるか 濱野勇気 第三章

サッカー人 濱野勇気は、縁もゆかりもない富山でサッカー選手のキャリアをスタートさせた。
第一章のJFLから、第二章リーグの舞台へ、怪我、引退。
それから富山に家を持ち、プロになったこの地で生きていく覚悟を決めた。
アマチュア、プロ選手、指導者—
プロを経験した指導者として、子を持つ親として、次の世代に何を残せるか。
第三章が動き出している。

文・写真・映像 金森 正晃
text/photo/movie by Masaaki Kanamori



TruthAR AR動画 <http://ns-cloudar.com/app/>

CLOUDAR(クラウド)で動画をご覧下さい。▶▶ 
右のQRコードから無料アプリ「CLOUDAR」をダウンロードしてください。
TruthAR のロゴのある写真にかざし、画面をタップすると読み込みが始まります。
推奨環境:iOS6/Android4.0以降の通信端末。パケット通信料はお客負担となります。



はまの・ゆうき
鹿児島県薩摩川内市出身、
れいめい高校、桃山学院大学からYKK APに加入。
センターバックとして活躍。JFLベストイレブンに3度選出。
2008年、カターレ富山で初代キャプテンを務めJリーグ昇格に貢献。
09、10年は中心選手として69試合に出場、5得点。
現在は会社員をしながらKurobe FCのコーチ。37歳

はまの・しおん
黒部中央サッカースポーツ少年団に所属。ポジションはMF。
「FCバルセロナサマーキャンプ2015」では、全国MVPに選出。9歳

2010年夏、異色の青芝で濱野のアキレス腱は悲鳴を上げた。
動かない足を引きずりながら、自分の夢の舞台に食らいついた。

中学1年でJリーグが誕生して、高校、大学とプロから声はかからなかった。
夢をあきらめそうになっていた。
最後の最後でJFLのYKK APから誘われた。そこからプロを目指そうと思った。
YKK APとアローズ北陸が合併。富山からJリーグを目指すクラブに加わった。
カターレ富山は、2008年シーズンのJFLで3位という成績をおさめJリーグに昇格した。
29歳になってようやく、迎り着いた。
「身体が動かなくなるまでやってやる」

Jリーグ通算69試合、5得点。
家族と話し引退を決意した。
大仕事をやってのけた身体はすでにボロボロだった。
限界までは走りきった。清々しかった。
引退して、黒部に家を建てた。
誘われるままKurobe FCのコーチになった。

意識の壁を越えろ

Jリーグでのシーズンは毎日が戦いだっただけという。
チーム内での競争、そして対戦相手との勝負、怪我との戦い。
しかし、いろいろ考えたところで試合は次の日曜に迫っている…。



アマチュアなら負けても次がある。
プロになると、次という保証はない。
子どもであろうと、目的を達成するためには、プロフェッショナルの意識を持つことが大切である。
起こった現象を分析し、対策を考える。何もスポーツだけに限った事じゃない。

プロ時代に感じたチーム内で生き残るために必要なこと。
指揮官の戦術を理解して、練習で示すことである。
戦術の筋道通り汗をかき、信頼される必要は武器にならなくてはならない。
果たすべき役割と自分の能力を照らし合わせる。そこには必ず、重なるポイントがある。
自分のストロングポイントはどう生かすか。逆にウィークポイントをどう補うのか。

濱野はこう考える。
現代サッカーにおいて、重宝される選手に不可欠な要素がある。
複数のポジションをこなす能力だ。
ここで重要な事は、ポジションへの理解度だ。
そういった選手は、次のプレーの展開を予測でき、最善のパスが選択できる。
できるポジションが多ければ多いほどその感覚は武器になる。
展開の速い現代サッカーでは、こういった要素こそ大切なのだ。
そして、もうひとつ。忘れてはいけないのがイメージの共有である。
映像は現代サッカーにおいて欠かさないツールだ。
めまぐるしく変わる戦況の中では、選手同士がイメージを共有してプレーすることが重要。
映像を見ることでより実戦に近いイメージを浸透させられる。
得点を取るには、必ず理由がある。
失点するには、必ず原因がある。
良いイメージを植え付けるため、そして、同じ過ちを繰り返さないために万全な準備ができる。
相手は自分より何が優れているのか。

だったらどんな準備をしなければならぬのか。
もう答えは出ているはずだ。

夢の続き

濱野が指導するKurobe FC U14は、富山県クラブユースサッカー新人大会2015で優勝をおさめた。
コーチとして手応えを感じ始めている。
「FCバルセロナサマーキャンプ2015」で長男・心温が全国MVPに選ばれた。
このキャンプでは現地FCバルセロナと同じトレーニングが行われ技術的に、戦術的に学んでいく。
心温は、クレバーなプレーとパスセンスが評価され、そのセンスはコーチ陣を唖らせた。
今冬にスペインに招待されている。

「FCバルセロナ」に入団して、チャンピオンズリーグで優勝する」
心温は照れながら夢を語った。

濱野は言う。
「僕らのころはJリーガーになるって夢が多かったけど、今じゃサッカーの環境はガラリと変わっている。
欧州で活躍している日本人選手も多い。今から世界に目を向けて慣らす事もいかなとけない。だからもっと上のレベルを見とかならんか」
新築した家のリビングには、やや小さめのゴールが置かれており、ボールの色はくすんでいる。
ボールを片時も離さずにこねてぶつけているのだから、
本気だから応援する。そんな夢の香りがする。

子どもが大きな夢を語るようになってから、自分がやってきたことに自信が持てるようになったという。
サッカーから楽しいこと、辛いこと、人生で必要なこと、いろいろなことを教えてもらった。
心温には、今は難しいことを考えずにプレーを磨いてほしい。
もちろん、指導するチームや、富山の子どもたちにも自分の経験を伝えたい。
ここで生きると決めたときから覚悟は決めている。

息子たちが描いている夢は、自分が想像もしなかった世界の舞台。
そのためにも、世界基準の指導が必要になる。
そんな濱野は現在、公認A級ライセンスを取得中だ。
いずれ公認S級にも挑戦してみたい。
指導者として、親として、夢を叶えた富山で新しい夢に向かって動き出している。

「敬意」という絆

心温がサッカーを始めて、両親を近くに感じるようになった。
自分のためにとだけのことではなく、自分も楽しむのか。
試合で息を切らしながら、いつも近くで応援してくれている姿を見ていた。
だからもっと頑張れた。
笛が鳴るまでしっかりと走れた。
「ありがとう」だけじゃ伝えきれない。
誰のために走るのだから。
何のために応援するのだから。
一緒に戦った仲間がいた。
対戦相手もいた。
応援してくれている人たちがいた。
そして、両親がいた。
心温もそれを理解できるようになるだろう。
それから本場の勝負だ。

スポーツを通じて世界で力を発揮できる人間を育てる

2006 TORINO



聞き手・文・写真 若林 朋子
interviewer&text&photo by Tomoko Wakabayashi



師弟がそろってトリノ五輪へ。男子回転・皆川賢太郎が4位と健闘し、2人は日本人では50年ぶりとなる入賞の瞬間を目の当たりにした(写真提供:柿谷さん)

トレーナー・柿谷さん 大切なのは失敗も含めた過程



AKEMI KAKITANI

かきたに・あけみ 1978年6月6日生まれ、37歳、富山市出身。雄山高卒、米・カリフォルニア州立大フレズノ校卒、ユタ州立ユタ大修士課程修了。米国のトレーナー専門資格であるNATA-BOC ATC、NSCA CSCSを取得、国立スポーツ科学センター(JISS)スポーツ科学研究部トレーニング指導員を経て富山県総合体育センタースポーツ専門員

人はなかなかできません。意見を持っていないわけではない。「周りからどう見られるか」を気にし過ぎる傾向があるようです。しかし、スキーは個人が世界の舞台で戦う競技ですから、自己主張ができる人間でなければいけないように思います。

柿谷 指導する側には「間違っていないから意見を言ってみよう」という雰囲気づくりが求められるのではないのでしょうか。大切なのは、失敗も含めた過程です。「トレーニングをやり切った」という確信を得てひのき舞台に立つる選手になってほしいですね。

苦しくても笑っていた」とのこと。頑張った記憶は、2人にとって一番の思い出ではないでしょうか。山中さんは37年の教員生活の間、富山の選手を育てながら、国内トップレーサーの強化にも携わってこられました。地方と世界を複眼で見ると、柿谷さんを含め多くの教え子に影響を与えてきたと考えられます。今、師弟コンビは「スポーツを通じて国際舞台で力を発揮できる人間を育てたい」という熱い思いを、ここ富山で共有しているのです。

雄山高校スキー部元監督の山中茂さんと、教え子の柿谷朱実さんは、「富山から世界へ羽ばたく師弟コンビ」。2006年のトリノ五輪には、アルペン競技の男子日本代表監督と女子日本代表トレーナーとして参加しました。柿谷さんが山中さんから学んだのは、「目標に向かって努力すれば、成功できなかったとしても後悔しない」という人生哲学です。

富山のアスリートに、厳しくも「楽しい」と感じさせるトレーニングを伝授しています。2人の指導論に耳を傾けてみました。

SHIGERU YAMANAKA

やまなか・しげる 1951年3月25日生まれ、64歳、札幌市出身。74年に日体大を卒業し、雄山高に体育科教諭として着任。2012年に退職するまで同高でアルペンスキーの指導に当たる。全日本スキー連盟アルペン技術運営委員会委員長、富山県スキー連盟副理事長。



アルペンスキー指導者・山中さん 富山からトップ選手を送り出す

柿谷 家から徒歩5分の場所にスキー場があり、小見小学校、上滝中学校で競技を続け、中学時代から合宿などでお世話になっていた山中先生のおられる雄山高校へ。高校時代、アルペン競技者としては大成したとはいえませんね。1994年の富山インターハイ、雄山高校の女子からは私だけが全国大会に出られず、悔しい思いをしました。しかし、チームのマネージャーを務めた経験が、その後「選手を支える仕事に就きたい」という思いになりました。

柿谷さんは渡米して短大・大学編入・大学院で学び、専門資格を取得されました。留学は勇気ある決断と挑戦だったのでは？

柿谷 野茂英雄投手がドジャースでプレーしていた時、インタビューの中でトレーナーの必要性を語るのを見て米国留学を決めました。スポーツに携わる仕事をしなかったけれど、「やりたいのはスキーのコーチではない」と思っていたので、トレーナーという仕事を知

り、「これだ！」という思いでした。いきなり渡米して英語は語学学校とホームステイで習得し、短大へ。専門的な知識と資格を積むために大学に編入して、大学院へ進みました。トレーナー修業は、日本ではチームがアシスタントスタッフを雇う余裕がなく、師匠について経験を積むのが難しいので独学で学ぶことが多いのですが、米国ではコンタクトスポーツ、球技、上半身、下半身と順を追ってアシスタントとして経験を積みつつ、報酬も得られるプログラムが確立されています。

山中さんは教え子の成長をどんなふうに見ておられましたか？

山中 雄山高校のスキー部員に対し、進路選択は自主性に任せていたので、そんなすごいことを考えているとは……という感じでした(笑)。8年間の留学中、帰省するたびに顔を出してくれたので、いろんな情報を得られました。体育の教員は自分の専門外の競技を知らないものです。体のケアについていろいろ質問しました。帰国後の進路については、「アルペンのサポートをしたいならアスレティックトレーナーとしてだけでなく、ストレングス&コンディショニングコーチとしての知識も求められるよ」と助言しました。

柿谷さんは帰国後、全日本スキー連盟女子アルペンシニアチームの帯同トレーナーを経て国立スポーツ科学センター(JISS)の指導員に。現在は新体操やスピードスケートなどトップ選手をサポートしていますが、2015年春からは富山県総合体育センターでスポーツ専門員として指導に当たっています。Uターンは大きな決断だったのでは？

柿谷 トップアスリートと接し、「幼いころ、もっとうしてたら……」と思う点も感じましたので、その経験を今、ジュニア選手の体作りに生かしています。山中 トップ選手と向き合う経験はだれでもできるものではありません。しかし、富山に根を下ろし、子どもを育て、刺激を与えてトップに送り出すということも同じように素晴らしいことです。

お2人が富山のアスリートに求める理想像を教えてください。

山中 ジュニア年代の選手を比べると、欧州の選手は大勢の中で自分の意見をちゃんと述べますが、日本

「お2人も、4歳でスキーを始めたとのこと。山中さんは北海道、柿谷さんは富山と、雪国に生まれ育つことが競技との出会いでした。アルペン競技にどんな面白さを感じ、今に至ったのでしょうか？」

山中 天候や雪質により、優勝候補が必ずしも勝てるわけではありません。また、山頂からゴールまで標高差700〜800メートルのコースを2分くらいで滑り降りると「山を征服した」という達成感が得られます。私は五輪に出場するレベルには至らなかったけれど、日体大4年時にはスピードスキーの国際大会に出場できました。

その後、スキー国体開催を控えた富山県から声がかかり、1974年から雄山高校の教員に。2年で北海道へ帰るつもりだったが、伸び伸びと指導する機会を与えてくれた富山で定年退職を迎えました。富山に骨を埋めることになったわけですね。



2015シーズン、投手リーダーとしてチームをまとめ、成績を残して絶大な信頼を得たのが佐藤康平投手である。今季の安定感は、なぜ生まれたのか？そこには、野球に対する「準備」と「経験から得た自信」があった。

3年目の自信

富山GRNサンダーバース／佐藤康平投手



も大切だ。マウンドの状態や風向きのチェックも怠らない。球場へ向かう時は分単位で遊算し、何分前にはどう行動するかを考えている。集合時間に遅れないように、15分前には到着している。「野球人である前に、人としての準備」を。中学時代から「当たり前」のことにしっかりできる大人になりたい」と話していた。準備こそが、安定したピッチン

今季の好調について聞いたところ、第1声は「自分でもよくわからない」。後に続く言葉は、「難しく考えないで低めにボールを集めることを考えて投げていた」だった。開幕前、吉岡雄二監督からは「先発も中継ぎもどちらもできるように」と言われていた。大学、クラブチームでは先発も経験しており、戸惑いはなかった。どんな場面でも、「自分の投球ができれば、結果はついてくる」と思った。今季は自信を持って投げられている試合が多いという。投手リーダーとしての責任感も佐藤を大きく成長させた。



NPBとの交流戦で完封
ターニングポイントとなったのは6月6日、ボールパーク高岡で行われた福岡ソフトバンクホークス3軍との交流戦である。

流戦だった。ファイ・ローズ選手のデビュー戦であり、観客は約2000人。大きな舞台だった。佐藤は被安打2で完封。NPB入りへのアピールにもなったはずだ。何より、自分の投球が通用し、大きな自信を得た。吉岡監督も「あれで次の段階に行けた」と認める。7月にはBCリーグ選抜メンバーとしてNPBとの交流戦で登板。「目指す世界」との距離が縮まっていたことを感じ取った。

「生きた教科書」の存在

また、新たな球種「ツーシーム」を覚えた。大家友和投手（現福岡ソフトバンクホークス）から教わったのだ。実戦で試し、効果に驚いた。投球の幅が広がり、結果、マウンドでの落ち着きが増した。試合中には、秦裕二投手兼任コーチから打たれた

ボールについての指摘や、力みがないかをチェックしてもらったNPBを知る「生きた教科書」から多くのことを学んだ。

チームは西地区で後期優勝を果たし、昨年に続き地区チャンピオンシップに進出した。第3戦までもつれて、前期優勝の福井ミラクルエレファントに敗れ、シーズンは終了。もう一歩のところで涙をのんだ。

後期に投手部門MVPを獲得

後期の成績は、無傷の5勝で、防御率は1.39。投手部門でMVPに選出された。この成績は1人で得たものではないと受け止めている。

佐藤は「自分は行けるまで思い切った投げられたい。野手がしっかり守ってくれるから投げられるし、2、3点取ってくれたら何とかする」という気持ちになる。ファンの皆さんとの「体感も嬉しい」とチームと声援に感謝した。

2013年の入団会見では「3年の上（NPB）に行きます」と意気込みを語った。2015年のシーズン

ルートインBCリーグ西地区後期順位表

	チーム	勝	負	分	勝率	差
①	富山	18	12	5	.600	優勝
②	福井	17	12	6	.586	0.5
③	石川	15	19	1	.441	4.5
④	信濃	11	20	4	.355	2.5

■西地区チャンピオンシップ

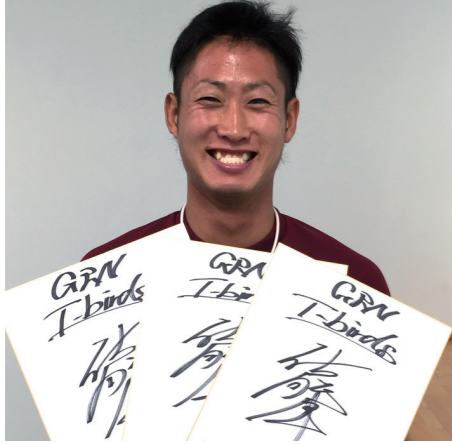
◇第1戦 富山3-2福井 ◇第2戦 福井2-1富山
◇第3戦 福井6-2富山

聞き手・文 土田 由香里 interviewer&text by Yukari Tsuchida
写真 富山GRNサンダーバース Photo by Toyama GRN thanderbards

ン前にはあらためて、「上に行きます」と宣言。ちょうど3年が経過した今、納得の成績を残した。

佐藤投手のサイン色紙を3名様にプレゼント!

佐藤投手のサイン色紙を3名様にプレゼントします。ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、Truthへのご意見・ご感想を記入の上、メールにてご応募ください。個人情報につきましては、商品の発送にのみ使用いたします



E-mail: tspo.toyama@gmail.com

締め切りは12月末日。なお、発表は商品の発送をもって替えさせていただきます。

さとう・こうへい 1989年7月27日生まれ、愛知県出身。177センチ、77キロ、左投左打。東海学園大(愛知)卒業後、クラブチームのNAGOYA23を経て2013年に富山サンダーバース入団。2015年の成績は、23試合に登板し、9勝1敗、防御率は2.27。後期MVPを獲得。

みんなが成長してくれた／吉岡 雄二監督

今年、若返りを図りたいという思いがありました。NPBを目指すには、若い方がチャンスや可能性をより得ることができると。勝たなくてはならないことは前提ですが、可能性にかけたい思いもあり、チーム作りに時間がかかることは覚悟の上でした。前期は先発投手がうまく試合を作れず、負ける試合が多くありました。野手陣も、リードされても取り戻す力が備わっておらず、全体的に底力がありませんでした。後期にまず取りかかったのは、先発投手の立て直しです。先発の佐藤が勝算を計算できるようにしたのが大きいですが、終盤には、勢いではなく選手一人ひとりが、いい意味で勝利に対して食欲になりました。先発メンバーだけでなく、ベンチもつになったように感じます。なかなか攻撃に貢献できなかった選手が、勝負どころで打ったり、ミスが出てカバーし合えるようになったりしたのは、練習の成果がいいところ出たのではないかと思います。『昇』というスローガンのもと、選手には少しでも上昇してほしいという思いで取り組んできました。その言葉通りにみんなが成長してくれたと思っています。



2015シーズンを終え、富山GRNサンダーバースの吉岡雄二監督に今シーズンを振り返っていただきました。

広告に最適！リアルタイムコンテンツ

無料でアプリをダウンロード
推奨環境：iOS 6.0/Android 4.0以降のスマートフォン端末

クラウド CLOUDAR

CLOUDARは画像、位置、時間、WEBなどさまざまな要素を連動させることで「かざしてコンテンツが見れる」にとどまらず、実店舗への誘導、時間による表示コンテンツの切り替え、WEBサイトへのログイン、など利用者を誘導する「人の流れ・動きを作る」ことのできるARサービスです。

写真にかざして

1

アプリを立ち上げたスマートフォンで、CLOUDAR対応マークにかざす。

タップして読み込み

2

かざしたのち、画面をタップすると読み込みを開始します。

写真が動き出す!!

3

読み込みが完了すると、動画、3DCG様々なコンテンツが再生されます。

〒933-0906 富山県高岡市五福町7-11 TEL.0766-26-3120 FAX.0766-27-3155 株式会社メディアプロ

富山三井アウトレット小矢部店
スタッフ募集!!

〒932-8538 富山県小矢部市 西中野972-1 富山三井アウトレット小矢部内

名古屋名物
みそかつ
矢場人

★美味しいまかない有!
★制服貸与! ★車通勤可!
★交通費規定内支給!
★ボーナス有!

まずはお気軽にお電話下さい。
(受付:10時~17時/採用係) 0120-36-8810

調理補助、接客、レジ等
富山三井アウトレット小矢部店
時給1000円
9:30~21:00の間で応相談
(週3日~、1日4時間程度からOK)
シフト制
まずはお気軽にお電話下さい。
社員も同時募集!!

一緒に楽しく働きましょう!!

奮い立て

J2復帰を目指したカタレ富山はその望みを絶たれた。来季もJ3で戦うことになりクラブ経営は正念場を迎えている。サポーターをはじめとする支援者に再建へのビジョンを示し、立ち上がらなければならない。



J2復帰の可能性が消えてサポーターから失望の声が上がった

ホームで行われた10月5日の第32節・秋田戦に敗れて3位以下が確定。6試合残して早々にJ2昇格の可能性が消えた。クラブは「今季1年での昇格」を目標に掲げており、ゴール裏に陣取る熱心なサポーターからは責任の所在を問う厳しい声が上がった。

クラブは昨季も在籍した選手を軸にして若手も育成しながらJ2に戻るといふ青写真を描き、J2でも実績のある岸野靖之監督にチームを託した。しかし序盤戦からつまづいて上位から離され、13クラブ中の6-8位から抜け出せなかった。8月27日に岸野監督を解任し、以降は澤入重雄ゼネラルマネジャーが暫定的に指揮を執っている。

戦術定まらず苦戦

岸野監督は今季の戦力編成が固まってきたからの就任だった。選手の能力と特徴の把握に手間どり、「技術レベルは高いと思ったが、実戦にならぬ発揮できない選手が多かった」と漏らしたのは出遅れたあと。目標設定に対して戦力が不足しているという警告を発したが、フロント側の動きは鈍かった。それでも「生懸命に練習する選手ばかりだから必ずチームは良くなる。その成長スピードを上げたい」と辛抱強く取り組んだが、現有戦力でも勝てる方法を模索した結果、チーム戦術が定まるまでに時間がかかった。得点力不足がたまたま接戦を勝ち切れないため連勝がでない。夏には上位との差が挽回困難なまでに広がった。

突然の解任に驚き

しかし、岸野監督は積極的な若手起用を継続。「チームを根本的に変えなければならない」と口にし、来季の構想が頭にあったのは明らかだった。サポーターの多くも将来を見据えた取り組みを支持していた。今季の昇格が難しくても、岸野監督の経験や人脈を頼りにチームづくりを進めるほうが、早期のJ2復帰を目指すには現実的で、可能性もあると感じていたようだ。

8月23日の天皇杯県代表決定戦で社会人クラブの新庄に敗れたのが監督解任の決定打になった。しかし、この試合も岸野監督は選手育成という明確なテーマを設定して普段は控えの選手を起用している。「あつてはならない結果」としてフロントは解任に動いたが、選手も驚く唐突な人事だった。サポーターの中には「強化のビジョンがみえなくなった」とクラブ事務所に押しつけて説明を求める者もいたほど。記者会見で述べられた解任理由は「結果責任」。不振の原因をどう分析して決断に至ったのかは具体的に語られず、サポーターがクラブに対して不信感を抱く一因となった。

思い寄せるサポーター

J2時代から勝つ試合よりも負ける試合が多いカタレだが、今も多くサポーターがスタジアムに來場している。アウェイゲームにまで足を運ぶ人数の多さはJ3で1、2だ。

「チームの状況が厳しい中、サポーターとして何かできることはないかと考えることが多い」（30代男性）

「これまでカタレから多くの感動をもらい、サッカーを応援する楽しさを知った。選手たちにはできるだけ上のカテゴリーでプレーしてもらいたい」（40代男性）

「もちろん勝ってほしいけれどそれだけじゃない。スタジアムで生観戦するのが面白いし、応援仲間とのつながりもうれしい。この楽しさをもっと多くの人に

文・写真 赤壁 逸朗 text&photo by Itsuro Akakabe

知らせたい」（50代男性）

「毎週の試合が生活の一部になっている。練習場にも見学に行くので選手に対する情もわく。経営難でクラブがなくなってしまうのが「一番怖い」（60代女性）

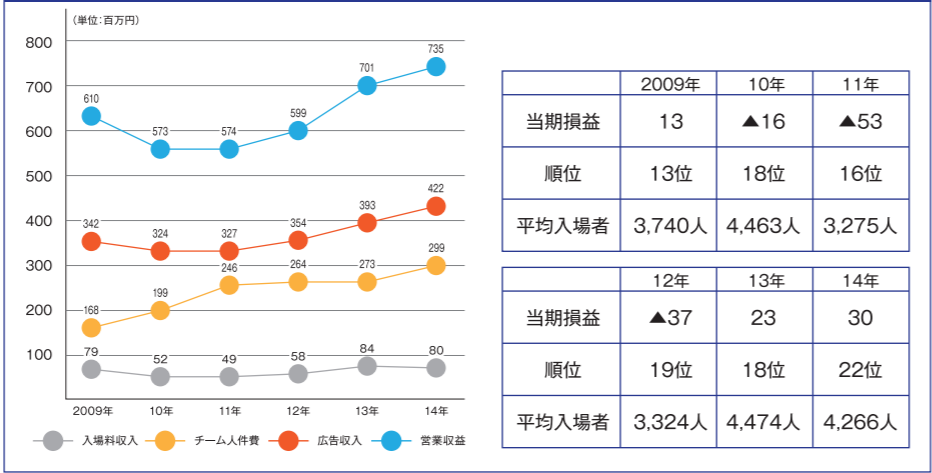
応援する理由はそれぞれだが、多くの人がクラブに思いを寄せているのは確かだ。J2復帰の望みが絶たれた今、クラブはサポーター、スポンサーをはじめとする支援者が来季に向けて希望を抱けるようなチーム強化の道筋を示さなければならないだろう。

地域貢献活動はJリーグ屈指

カタレ富山は日本フットボールリーグ（JFL）に参加していたアローズ北陸とYKK APが合流するあたりで07年に発足。09年のJ2昇格後は、苦戦が続いても収入やホームゲームの入場者数を着実に伸ばしてきた。

「Jリーグ百年構想」のもとで重視される、学校訪問やイベント参加をはじめとする地域貢献活動の実施件数はJリーグ屈指。スクールを各地で開催し、下部組織のU18が今春1期生を輩出するなど普及活動も軌道に乗せつつある。しかし、今季は1試合平均入場者数が2844人（10月3日現在）で昨季より約1400人減。J3降格が経営に与える影響は小さくない。いずれは、成績の浮き沈みに動じない経営力をつけ、中長期的にみてコンスタントに好成績を残せる強化体制を整備する必要がある。この訓練を乗り越えなければならない。

カタレ富山 経営状況の推移



カタレ案内板

最終戦セレモニー

11月15日の第38節・盛岡戦は今季の地元で行われる最後の試合。終了後にはセレモニーとファンサービスが予定されている。J3最終の39節は同月23日。

ホームゲーム日程

35節	10月25日13時 vs鳥取(県総合)
38節	11月15日13時 vs盛岡(県総合)

<問合せ>カタレ富山 電話076-461-5200 ※時間は開始時刻

クラブ年表

- 2007年
 - 9月 県庁で会見し県民クラブの発足発表
 - 10月 運営会社発足。中尾哲雄社長、古田曜彦専務
 - 11月 カタレ富山に名称決定
 - 12月 初代監督に楚輪博YKK AP監督が就任
- 2008年
 - 2月 Jリーグ準加盟
 - 3月 JFL 初戦10704人來場。堤健吾がクラブ初得点
 - 11月 18勝8分8敗・3位で終える
 - 12月 Jリーグ入会決定
- 2009年
 - 2月 U-15が活動開始
 - 3月 J2初戦。福岡と0-0で分ける
 - ホーム開幕戦で遠辺誠がクラブJ初得点
 - 第5節・草津戦、ホームでJ初勝利
 - 4月 富山駅前にカタレ・サホステーション開設
 - 清原邦彦社長が就任。中尾氏会長へ
 - 第13節まで3連勝
 - 8月 第35節まで2度目の3連勝含む8戦負けなし
 - 12月 15勝16分20敗・13位（18クラブ中）で終える
 - 12月 元日本代表・黒部光昭が加入
- 2010年
 - 3月 ホーム開幕戦に10726人來場
 - 9月 楚輪監督辞任。安間貴義監督が就任
 - 10月 第31節まで7連敗・10戦勝ちなし
 - 12月 8勝4分24敗・18位（19クラブ中）で終える
- 2011年
 - 3月 東日本大震災によりホーム開幕戦が中止に
 - 4月 復興支援チャリティーマッチ・新潟戦を開催
 - カタレローソンがオープン
 - 8月 第26節でF・東洋に勝利。8633人來場
 - グルメ企画・T1グランプリ初開催
 - 11月 天皇杯3回戦 鹿島に延長戦で敗れる
 - 12月 朝日大輔、77試合連続先発出場
 - 11勝10分17敗・16位（20クラブ中）で終える
- 2012年
 - 2月 大雪でスタジアム除雪への協力呼び掛け
 - ジュニアドリームバスを創設
 - 富山シティFMでホーム全試合中継始まる
 - 4月 U-18が活動開始
 - ダンスチーム・Leap-Blue活動開始
 - 永原功会長就任。中尾氏は名誉会長に
 - パブリックビューイング、グラウンドプラザ初開催
 - 8月 高岡セタでサポーター出品物が最高賞
 - サポーター募金でブルーネット寄贈される
 - 第31節まで15戦勝ちなしで残留争いへ
 - ファン・サポーターカンパニース初実施
 - 第32節から3年ぶりの3連勝
 - 11月 9勝11分22敗・19位（22クラブ中）で終える
 - 個人協賛金制度を創設
- 2013年
 - 4月 第10節・G大阪戦に13639人來場
 - 5月 U-15 松岡大智がU-16日本代表遠征に参加
 - 芝刈りプレミアシットが登場
 - 6月 U-18が北信越クラブユース選手権で初優勝
 - ピッチサイドにエキサイティングシート新設
 - 9月 U-15 西尾佑がU-15日本代表に選出
 - 第35節で若口卓也がクラブ初のハットトリック
 - 11月 11勝11分20敗・18位（22クラブ中）で終える
- 2014年
 - 4月 開幕から9戦勝ちなし
 - 高瀬翼がクラブ最年少得点（18歳8カ月8日）
 - 第19節まで9連敗
 - 7月 清原社長退任。酒井英治社長就任
 - 10月 サポーターによるビッグフラッグ初掲示
 - 11月 第39節で最下位とJ3降格が決定
 - 5勝8分29敗・22位で終える
 - 澤入重雄GM就任。安間監督退任
 - 12月 岸野靖之監督就任
- 2015年
 - 1月 馬渡準嘩がU-18から初のトップチーム昇格
 - 5月 第10節で3年半ぶり逆転勝ち。3季ぶり3連勝
 - 7月 魚津桃山でJ入会後初のホームゲーム開催
 - 8月 天皇杯県代表決定戦で新庄クラブに敗れる
 - 岸野監督解任。澤入監督就任

Tスポとやまは
富山発のスポーツメディア

「トゥルース」
Truthを
発行・運営するNPO法人です。

Tスポとやまの活動

- ①活字・写真・映像・SNSを活用した新メディア「Truth」の発行・運営
- ②教室・講演会などスポーツ振興につながるイベントの開催
- ③スポーツ団体・選手の支援

富山のスポーツの真実を伝える。

Internet / Design
since 1996

インターネット&デザイン シーズプランニング
930-0052 富山市五番町5-6 河上ビル4F
TEL 076-425-5195 FAX 076-425-5183



聞き手・文 松井 克仁
interviewer&text by Katsuhito Matsui
写真 若林 朋子
Photo by Tomoko Wakabayashi

18番目からのストーリー

富山グラウジーズ社長 黒田 祐に聞く

8月29日、2016年秋に開幕するバスケットボールの新リーグ(B. LEAGUE)の1部に富山グラウジーズの参入が決まった。1部18チームのなかで、最後に名前が呼ばれたグラウジーズ。18番目だったことについて聞くと、黒田祐社長が言う、18番目と2部となる19番目では、全然違う。18番目だからこそ、そこにストーリーがある。

高いハードル

1部入りの条件として川淵三郎チェアマンが出した条件は①5000人規模のアリーナでホーム戦の8割を開催すること、②年間売上2億5000万円以上。5000人規模のアリーナについては、富山市が条件を満たす富山市総合体育館のグラウジーズの優先利用を認めてくれたことでクリア、最後まで重くのしかかったのが、売り上げの確保だった。振り返って、黒田は言う。「1回目のヒアリングで面接官6人のなかに、川淵さんがいてくれたのがラッキーだった」。

6月30日 1回目のヒアリング。

黒田は、財務的な面を追求され、川淵さんから「今のままだったら2部からスタートだよと言われた」という。5000人収容のアリーナを満員にするなら、5000人のファンクラブがないとだめだよと。

この時、黒田は、すぐに富山に戻り会見を開き、リーグではなく、川淵さんから言われたと県民に伝えた。その後も、動きがあれば、会見を開き、現状を伝え続けた。

そして、自らが出された課題に立ち向かう。

売り上げ増へ、新規の大手スポンサー獲得も考えたが、残された時間はわずか。黒田は、これまで応援してくれたスポンサーに1部参入を条件に増額をお願いして回った。そして昨シーズン約1600人だったフーディー会員を5000人にすべく、選手、スタッフ、ファンとなつて街頭で呼びかけた。フーディーは1か月もたないうちに5000人を超えた。

黒田は言う。現状を発信しつづけたことで、いろんな人たちが動いてくれた。

7月30日 J.B.P.Lは、1部リーグ12チームを発表、グラウジーズの名前はなかった。

8月7日 2回目のヒアリング。リーグからは、財務的な条件クリアとの回答を受け。あとは、他のチームとの競争だ。

思い出した情熱

条件クリアだけでは、1部入りとはならない現実。あと出来ることは何か？ 黒田は、1部参入を条件に増額を認めてくれたスポンサーから裏付けとなる覚え書きを1枚1枚集めては、リーグに送った。

書類の最終提出期限は、8月20日。提出期限の前日、黒田は、すでに1部参入を決めているb.jのチームに、何かできることはないかアドバイスを求めた。返ってきた言葉は、情熱をぶつけていけ。

20日、黒田は、書類を郵送ではなく、自ら東京へ、足を運んで提出する。その後も、毎日リーグに電話をして、何かできることはないか探った。川淵さんに思いが届くと信じて……。

黒田は、こう振り返った。7年間社長をやつて、最初は、情熱だけでやってきたが、去年くらいから経営者になつたかと思う。それは、お金の話を最初にするようになったから……。従業員を守る、家族を守ることが大切だから。ただ、今回、川淵さんのおかげで、最後は原点にあった情熱を思い出し、ぶつけた。

滑り込みセーフ

8月29日、振り分けの最終発表の会見でJ.B.P.Lの大河正明理事は、1部最後18番目の残り1枠は、岩手、鳥根、富山の争いだつたことを明らかにした。そのなかで、富山を選んだ理由について、「選手出身の社長がいらっしゃって、チームを強化していく、選手の気持ちを受け止める……そういったことも含めて、ちょっと毛色の違ったクラブ運営、経営をされるのではないかと、トータルでみて、期待値を込めて1部にしたいということですよ」と述べた。

黒田が惚れた川淵チェアマン

黒田の川淵チェアマン評は、こうだ。あそこまで、リーダーシップをもつてやる人はいない。どうやって企業、自治体、ファンを巻き込んでいくか知り尽くしている人、リーグ統一の問題だけがクローズアップされているが、ガバナンス、育成、構造的なもの、すべてに問題があつて、それを変えてくれた。川淵チェアマンは、グラウジーズにこうエールを送っている。

「日本海側のクラブが、日本でもトップクラスのプロチームを持つるところを示してほしい」



1部で描くビジョン

グラウジーズが1部でなければならぬ理由、それは、2020年東京オリンピックに選手を輩出するという目標があるから。黒田は言う、1部でなければ、おそらくチームの主力である城宝匡史、水戸健史は来季、チームに残る可能性は少ない。さらには日本代表クラスの選手は来てくれない。特に富山市出身で日本代表候補に選ばれた馬場雄大(筑波大2年)、八村塁(宮城・明成高校3年)には、来て欲しい。そして、県民にレベルの高いプレーをみせたい。

黒田は今後、シニア層を対象にした下部組織のユースチームを発足させる構想を持っている。2020年を見据え、5年かけて、富山から選手を育成する。



[富山グラウジーズ公式ホームページ]
<http://grouses.jp/>

B. LEAGUEの構成

地区	チーム名
東地区	レバンガ北海道
	仙台89ERS
	秋田ノーザンハピネッツ
	リンク栃木ブレックス
	千葉ジェッツ
中地区	トヨタ自動車アルパルク東京
	日立サンロッカーズ東京
	東芝ブレイブサンダース神奈川
	横浜ビー・コルセアーズ
	新潟アルビレックスBB
西地区	アイシンシーホース三河
	三菱電機ダイヤモンドドルフィンズ名古屋
	滋賀レイクスターズ
	京都ハンナリーズ
	大阪エヴェッサ
琉球ゴールデンキングス	
2部 18クラブ	
3部 9クラブ	



くろだ・たすく 上り町出身、38歳。富山商高一信州大卒、2000年とやま国体には成年男子の長野県代表として出場、06、07年に富山グラウジーズでプレーし、08年にGM、09年から社長を務める。

弾けるアイディア 固まる信頼



NISSEI TECHNICA
株式会社ニッセイテクニカ

<http://www.nissei-tc.com/>



ご家族や事務所の安全安心のために

365日、24時間、見守り続けます



富山県総合警備保障

☎076-443-5888

〒930-0873 富山市金屋2715-10
<http://www.toyama-alsok.co.jp/>

スポーツ伝言板

ここでは、県内の身近なスポーツの話題を紹介していきます！
あわせて皆様からの情報提供もお待ちしておりますので、詳しくは左ページ下記をご覧ください。

富山で初の24時間 フィットネス マッスルジムが 富山市に登場

マッスルジムトーキョー富山店



東京で3店舗を構えるMUSCLE GYM TOKYO(マッスルジムトーキョー)が富山に初出店。オープン以来人気ですすでに男女合わせて300名以上の人が会員となっている。もちろんその人気の理由は24時間好きな時間に利用できるという利便性と、芸能人などを中心に話題となった加圧トレーニングだ。

24時間会員は月6480円とかなりお値打ちで、静脈認証システムでいつでも好きな時間に入りができ、それぞれの生活スタイルに合わせた利用が可能。また加圧トレーニングはパーソナルトレーニングを採用しており、経験豊富なスタッフがそれぞれの体調・体力に合ったメニューを提案してくれる。そのため、フィットネスや運動不足解消、本気の肉體改造など目的に合った体づくりをより効率的に実現してくれる。

来る11月21日にはマッスルジム主催のアムレスリング大会の開催も決定。参加費は1000円で会員・非会員問わず参加することができる。今後も様々な参加型のイベントを企画展開することになるので、この機会にマッスルジムに興味のある人は参加してもらいたい。

もちろん無料体験も実施しており、加圧トレーニングを体感したい人は、予約制で1度体験することも可能。



マッスルジムトーキョー富山店
<http://musclegym.jp/toyama/>

本気の体作りから フィットネスまで

ホッケーU-18

石動高校から6人選出

U-18日本代表が発表され、インターハイ3位の男子は、浦下陸(D・F・3年)、加藤凌聖(F・W・3年)、石塚翼(G・K・3年)、折戸開(F・W・3年)がメンバー入り。また、インターハイ優勝の女子は西尾亜祐美(F・W・3年)、松郁実(M・F・2年)が選出された。代表として貴重な国際経験を積み、2020年東京五輪を目指す。



石動高から選出されたU-18のメンバー

登坂が育ったクラブから 逸材続々……

レスリング世界選手権の女子48キロ級で3連覇を果たした登坂絵莉選手(高岡市出身、至学館大)が小学生時代に所属していた高岡ジュニアレスリングクラブから、逸材が続々と育っている。

中村成実(魚津西部中)、中谷湖雪(国吉中)、姫野笑琉(木津小)ら3選手は、いずれも小学生時代に日本一に輝いた。中でも中村選手は小学6年の時、男子選手に混じって32キロ級に出場し、優勝した。しなやかな動きと柔軟性が持ち味である。柔道でも富山県内でナンバーワンの実力だ。指導に当たる角地山監督は基本を大切に、楽しみながらレスリングの面白さを体得していくことを信条としている。「登坂効果」で成長著しい選手らは、「目標は五輪に出ること」と声をそろえた。

レスリング

スポーツ整体



ますやま整体
<http://masuyama6-seitai.jimdo.com>
バッティング練習場ベースボールハウスMVP
<http://www.mvp55.com/>

本気に応えたい スポーツ整体で笑顔を取り戻せ

「高校に入ったら野球はやらない」。肩を痛めてその話していた少年が、再びボールを投げられるようになった。淋しがっていた少年の父親にも笑顔が戻った。バッティング練習場ベースボールハウスMVP有沢店で行われている「スポーツ整体」。「本気で改善を望む方を全力でサポートしたい」と語るのは、施術にあたる「ますやま整体」の増山耕三さんだ。MVP有沢店の川合大輔店長は、増山さんの熱意を受け止め、施設の一角を貸し出した。「みんな笑顔で帰っていかれますよ」。これまでに数多くの野球少年をみてきた川合店長だからこそ、施術を受けた子どもたちの表情の違いがよくわかる。施術は午後7時以降で完全予約制となっている。

今年の研修会はちよっとユニーク 県内初の「野球祭り」も開催！

県野球協議会が開催する今年度の指導者研修会がユニークだ。第2回の講師にはメンタルトレーナーの飯山眺朗氏(高岡商高出身)を招く。去年、大逆転で甲子園出場を決めた星稜や、この夏甲子園で8点差から追いつく壮絶な打撃戦を演じた高岡商高の指導にあたる人物だ。さらに、部活動中の事故に備えるリスクマネージメントの観点から弁護士も用意されている。第3回は、全国の舞台を経験した小中高の指導者によるシンポジウムや東海大相模高の門馬敬治監督をゲストに迎えた討論会も企画した。

他にも楽しみなのは、来年2月に予定されている「ベースボールフォーラム」。野球用品の展示や書籍の紹介、無料のスポーツ整体施術やトレーニングコーナー、社会人・大学チームの専用ブースなどを設けて県内初の「野球祭り」を開催する。どれも見逃さない！

第2回指導者研修会 9:00~	平成27年12月12日(土) (午前)富山市体育文化センター(午後)アイザックススポーツドーム
第3回指導者研修会 8:30受付	平成28年 1月30日(土) (午前)高志会館(午後)富山市民球場
第4回指導者研修会 13:00~	平成28年 2月20日(土) ※ベースボールフォーラム同時開催 富山市総合体育館研修室 第2アリーナ

詳しくは、富山県野球協議会事務局まで
TEL 076-444-3461(担当:野口)
takafumi.noguchi@pref.toyama.lg.jp

一般社団法人 パレススポーツクラブ設立

県総合体育センターを拠点に、園児から大人までが参加できる様々なスポーツ教室を開催するパレススポーツクラブが、発足から10年余りを経て、今年7月に一般社団法人としての新たなスタートを切った。

今後子どもたちの健全育成や競技選手の手育成、高齢者の生きがいづくりなどに寄り添うべく、スポーツや文化活動を通じて地域貢献にまい進する。嶋田利隆代表理事が「ディズニーランドをイメージしている」と語るように、みんなの笑顔をいっばいすることに最大のミッションだ。

HP <http://toyama-sports.jimdo.com>

県内のスポーツ情報をお待ちしております

富山発のスポーツメディア

Truth
Find us on Facebook

Tスポとやま Truth
<https://www.facebook.com/tpo.truth>

Tスポとやま

『Truth』冬号掲載ニュースの締め切りは2015年12月末
.....
原稿・写真(画像)は左記メールアドレスまで、よろしくお願ひします。なお、体裁に合せたリライトは編集部でさせていただきます、ゲラチェックはありません。
・Tスポとやまメール
tpo.toyama@gmail.com

NPO法人Tスポとやま 賛助会員募集

NPO法人「Tスポとやま」(2015年4月認証)は、スポーツの力で富山を元気にしたいとの夢を実現するべく、県内のスポーツとそれに関わる皆さんを応援する活動を展開しています。

2015年春に富山初のスポーツマガジン「Truth(トゥルース:真実の意)」を創刊、夏・秋・冬と年4回発行していきます。2020年東京五輪・パラリンピックに向けたアスリートたちの挑戦を広く県民の皆様にお伝えし、その情熱を支えていきます。

Tスポとやまは、一緒に活動・支援してくださる方を募集しています。よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

Tスポとやま代表 松井 克仁

【賛助会員】

企業・団体：[年会費] ¥10,000(税込) / 1口

個人：[年会費] ¥3,000(税込) / 1口

※賛助会員には「Truth」(年4回発行)を送付いたします。また、同誌に御芳名を掲載します。会員期限は入会日から2016年3月末までとします。

【入会方法】

申込書を記入いただき、年会費を銀行振込などでご入金ください。

◇振込先 北陸銀行 本店 普通6071056 特定非営利活動法人 Tスポとやま

富山銀行 本店 普通3012357 特定非営利活動法人 Tスポとやま

※振込の場合は申込書を下記までFAXまたはメールでお送りください。

◇FAX:0766-55-0009 ◇E-mail:tspo.toyama@gmail.com ◇問合わせ先 080-3461-5959(Tスポとやま事務局)

《Tスポとやま 賛助会員 申込書》

ご芳名(または企業団体名)	ふりがな		
ご住所(「Truth」のお届け先をご記入ください)	〒		
電話番号	()		
メールアドレス	@		
「Truth」巻末の社名・氏名掲載希望の有無	掲載を希望する (右欄に掲載名をご記入ください)	掲載名	希望しない
口数・金額	(法人・個人)いずれかに丸をお付けください	金額	円
お支払方法(いずれかに丸をお付け下さい)	現金	・	銀行振込

※申込書をFAXなどで送付ください

<個人情報の取り扱いについて>皆様からお預かりした個人情報については「Tスポとやま」の活動関係事務のみに使用し、それ以外の目的に使用したり、第三者に開示したりすることはございません。

Tスポとやま 賛助会員の皆様(2015年10月20日現在)

【法人会員】

津根精機、東亜電工、ホテルよし原、澤川鍛造工業、澤田製作所、岩沢製作所、富山技販、KANAYA、富山機械工業センター、山崎機工、旭産業、日伸精機、石金精機、内山精工、エヌアイシ・オートテック、岡崎工機、伸栄商会、大日工機、藤堂工業、ユニゾーン、田中精密工業、高岡ケーブルネットワーク、ウィーズ、春日産商、藤田内科クリニック、野中精機製作所、潤観光開発、サニーライブグループ、北陸パロン美装、五感リゾート牛岳、医療法人財団 五省会西能病院、前川歯科クリニック、アルミファクトリー、バイエルンスポーツ、一般社団法人パレススポーツクラブ、ねむり家、富山県総合警備保障、ヤマヒデホーム、ジャストドゥイット、学校法人荒井学園、酒彩さんぽ (順不同)

【個人会員】

田中英一郎、田中光子、田中龍郎、田中一郎、渋谷春男(北京飯店)、若林浜子、松井勝馬、牧内直哉、嶋田利隆、木津裕、石浦昭雄(Ishi-G雑楽)、石須康友、岡村妙子、河崎克彦、澤川幸七、澤川美幸、澤川幸利、澤川泰子、田村勉、豊田麻衣、成田光雄、成瀬昌朗、竹内元人、若林良、杉岡史磨、田形衛、伊東与二、大辻保、高岡茂樹、清水善光、早藤績、松本裕典、山中茂、西野由香、谷崎文保、南雲公子、清見昇、鈴木八十善(ステーキ すず屋)、黒田明、澤田利浩 (敬称略、順不同)

NPO法人Tスポとやまは賛助会員と、配布にご協力いただける企業やお店等を募集しています。

【編集後記】

・富山グラウジーズの黒田祐社長とは10年以上の付き合いだ。つらい時を知るものとしては1部参入へのドラマは感慨深いものがあった。18番目からの伸びしろに期待したい(Tスポとやま代表・松井)

・新人戦取材するのが好きです。選手の多くは経験が乏しく、試合中の立ち振る舞いからも慣れない様子や緊張感が伝わってきてほほ笑ましく感じます。しかし、冬を越えて最後の大会には必ずたくましくなった姿を披露してくれます。これからどんな成長をみせてくれるかと思うとわくわくします(赤壁)

・曲がる錫製品でおなじみ高岡の株式会社能作は2014年から医療器具の製造に挑戦している。錫の鑄造技術が、骨折などの時に骨を固定させる添え木に応用できるそう。柔軟な金属のため形状を自由に变化させる事が特徴。身体にぴったりあった富山発信の医療器具は今後、アスリートの強い味方になりそう(金森)

・Truthを発行しながらも、特に自身がスポーツをすることもなく…そんな自分に喝を入れるため、富山マラソンへの出場を決意。次号にて報告します(小林)

・秋冬スポーツが開幕する時期となりました。今年は富山サンダーバースの後期優勝や富山グラウジーズのBリーグ1部参入など、話題に事欠かないスポーツシーンが繰り広げられました。来年の夏季オリンピックに向けますます明るい話題で盛り上がることを期待しています(坂野上)

・佐藤投手のエースへの成長は皆が認めるどころ。しかし、それだけではなく、吉岡監督の下でチーム全体が少しずつでも成長を重ねてきた結果が終盤の強さに繋がったと感じます。オフの期間は個々のこれからの注目です(土田)

・富山グラウジーズ・黒田祐社長とレスリング・登坂絵莉選手が「情熱大陸」に出演!さすが!(中沖)

・レスリング・登坂絵莉選手が競歩・谷井孝行選手の世界選手権銅メダル獲得を知り、「Truth」のフェイスブックページにお祝いコメントを寄せてくれました。自身も3連覇達成! 富山のアスリートの「メダル獲得の輪」リオ五輪に向けて広がってほしいです(若林)

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営

〒932-0817 小矢部市小神204-3 代表:松井克仁

TEL:080-3461-5959 E-mail:tspo.toyama@gmail.com

Facebook:https://www.facebook.com/tspo.truth

顧問:田中一郎

STAFF:赤壁逸朗/金森正晃/小林永/坂野上満/谷尚人/土田由香里/中沖紘一/永森茂/松井克仁/若林朋子

DESIGN:TIME PLANNING JAPAN 株式会社

Truth 冬号は2016年1月下旬発行予定